

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	3 類型 A B	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や能力を身に付ける。 (2) 人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げられるようにする。 (3) 言葉がもつよさを認識しながら、国語を大切にし、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
担当教員	矢部 絵里香			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするための国語(日本教育研究出版)「新規」			
月	題材名	時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	自分のことを伝えよう ①	3	○自己紹介、2年生の抱負 ◆目的や場に応じた話し方ができる。 ◆要点を落とさないように話すことができる。 □見本を見せる。ワークシートを活用し、要点を落とさないようにする。	
5	インタビューをしよう	4	○インタビュー、他己紹介 ◆目的や話題を考え、インタビューをしたり質問の意図を理解して答えたりすることができる。 □ワークシートを使用して要点をまとめられるようにする。	
6 7	日常生活で使う表現を知ろう	6	○日常生活で使う敬語、伝え方 ◆身近な言葉を学習し、文章などで活用することができる。 ◆社会生活を意識した敬語を扱うことができる。 □ワークシートを用いる。 ロールプレイを取り入れる。	
9	自分のことを伝えよう ②	4	○夏休みの出来事の発表 ◆要点を考え、文章をまとめることができる。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける。 □生徒の実態に合わせたワークシートを活用する。	
10 11	様々な文学にふれよう	6	○物語・説明文・古典文学等の音読・漢字の読解・書字 ◆様々な文章に触れ、感想をもつ。 ◆文章を正しく読み取るルールを知る。 □馴染みのある物語や古典文学を取り上げる。	
12	地方の言葉や文化に触れよう	4	○地方の方言や民話等の読解 ◆地方によって言葉の違いのあることを知る。 ◆話し手の意図や気持ちを考えながら話の内容を適切に聞き取ることができる。 □社会科との学習との関連をもたせ、理解を深める。	
1	書初めをしよう	3	○毛筆や硬筆を使った書写 ◆手本を参考に、正しい筆順と整った字形を意識できる。	
2 3	自分のことを伝えよう ③	5	○2年生の生活についての発表 ◆いろいろな文章を、相手や目的に応じて適切に書いたり、発表したりすることができる。 □生徒の実態に合わせたワークシートを活用する。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	3類型CD	
ねらい	(1) 社会生活に必要な国語の知識や能力を身につける。 (2) 人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げられるようにする。 (3) 言葉がもつよさを認識しながら、国語を大切にし、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
担当教員	○河村 歩実 ○中居 桂			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	ひとりだちするための国語(日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	自分のことを伝えよう① インタビューしよう	4	○自己紹介、他己紹介 ◆目的や場に応じた話し方ができる。 ◆要点を落とさないように話すことができる。 □評価表を利用し、他己評価を行う。	
6 7	説明文や広告を理解しよう 表現力を高めよう①	5 3	○説明文・広告・新聞を読む ◆いろいろな語句、文、文章を読み取る。 □ワークシートを利用する。 ○丁寧な言葉(丁寧語・尊敬語・謙譲語等)の活用 ◆お礼状やはがきが状況に適した言葉で書ける。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける。 □副教材やプリントを利用する。	
9	自分のことを伝えよう②	4	○夏休みの出来事の発表 ◆要点を落とさないように、文章をまとめることができる。 ◆手紙や日記などを目的に応じて正しく書ける。 □簡単なメモから、体験に基づき言葉を付け加え、文に仕上げる。	
10 11 12	地方の言葉や文化に触れよう 表現力を高めよう②	6 5	○地方の方言や民話等の読解 ◆地方によって言葉の違いのあることを知る。 ◆話し手の意図や気持ちを考えながら話の内容を適切に聞き取ることができる。 □ICT機器やプリントを利用する。 ○公共施設の利用申請書や申込書の作成 ◆記述項目に応じて正しく記入できる。 ◆あて名書きや差出人の書き方を理解する。 □実際の申請書などを利用し、書き方に慣れるようにする。	
1 2 3	俳句を創作・鑑賞しよう 自分のことを伝えよう③	4 4	○俳句や短歌の創作と鑑賞 ◆いろいろな語句、文及び文章の内容を正しく理解し、読み取ることができる。 □プリントやICT機器を利用して学習する。 ○2年生の生活についての発表 ◆いろいろな文章を、相手や目的に応じて適切に書いたり、発表したりすることができる。	

			<input type="checkbox"/> 作文メモを利用して発表などをする。	
--	--	--	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	社会	グループ名	3 類型 A B	
ねらい	(1) 自分の身近なことの歴史や産業の特色を把握し、自分の生活との関連性を知る。 (2) 自分にとってより良い選択を考え、判断する。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度や自覚を育む。			
担当教員	○家納汀 ○村越幸子			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ社会（東洋館出版社）、見て、学んで、力がつく！こども日本地図（永岡書店）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	我が国の国土の様子と国民生活、歴史産業と生活	11	○日本の国土、生活、歴史について ◆日本の国土の特徴を知る。 ◆日本国内の地域によって生活様式を知る。（都道府県） ◆日本の歴史について知る。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。	
7	外国の様子	3	○外国の様子を知ろう ◆様々な国の生活様式を学び、日本との違いを見つける。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。	
9	社会参加ときまり	6	○選挙の仕組み、投票のやり方 ◆選挙の仕組みを知る。 ◆具体的な投票の仕方を知る。 □具体物を利用しながら、ロールプレイを行うことで具体的な選挙の方法への理解を深める。	
10 11 12	公共施設の役割と制度	6	○国や社会のきまり ◆国や社会の大まかなきまりを理解し、卒業後の生活に大きく関わることを知る。 ◆社会生活を送る中で必要となる、働く人を守る法律や社会保障制度について知る。 □実際の生活場面から内容を設定し、イメージをもちやすくする。	
1 2 3	我が国の国土の自然環境と国民生活	9	○災害や環境について ◆今後関東で発生すると予想されている災害について知る。 ◆災害が発生したときの対処法を知る。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。 □対話的な活動場面を設定し、多角的に考える機会を作る。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	社会	グループ名	3 類型CD	
ねらい	(1) 自分の身近なことの歴史や産業の特色を把握し、自分の生活との関連性を知る。 (2) 自分にとってより良い選択を考え、判断する。 (3) 社会の様子や仕組みに関心をもち、社会の一員としての態度や自覚を育む。			
担当教員	○家納汀 ○村越幸子			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ社会（東洋館出版社） 見て、学んで、力がつく！こども日本地図（永岡書店）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	我が国の国土の様子と国民生活、歴史産業と生活	11	○日本の国土、生活、歴史について ◆日本の国土の特徴を知る。 ◆日本国内の地域によって生活様式を知る。（都道府県） ◆日本の歴史について知る。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。	
7	外国の様子	3	○外国の様子を知ろう。 ◆様々な国の生活様式を学び、日本との違いを見つける。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。	
9	社会参加ときまり	6	○選挙の仕組み、投票のやり方 ◆選挙の仕組みを知る。 ◆具体的な投票の仕方を知る。 □具体物を利用しながら、ロールプレイを行うことで具体的な選挙の方法への理解を深める。	
10 11 12	公共施設の役割と制度	6	○国や社会のきまり ◆国や社会の大まかなきまりを理解し、卒業後の生活に大きく関わることを知る。 ◆社会生活を送る中で必要となる、働く人を守る法律や社会保障制度について知る。 □実際の生活場面から内容を設定し、イメージをもちやすくする。	
1 2 3	我が国の国土の自然環境と国民生活	9	○災害や環境について ◆今後関東で発生すると予想されている災害について知る。 ◆災害が発生したときの対処法を知る。 □ICT機器を利用して、分かりやすくする。 □対話的な活動場面を設定し、多角的に考える機会を作る。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	数学	グループ名	3 類型 A B	
ねらい	(1) 数や図形などについての基本的な概念や性質を活用し、数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察したり数学的な表現を用いて簡潔に表現したりする力を養う。 (3) 数学のよさを実感し、事象を数学的に振り返ったり、多面的に捉え検討したりしてよりよいものを求める態度を養う。			
担当教員	○鳥海 幸造 ○中居 桂			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ数学 (東洋館出版社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6	数と計算	12	○分数と小数 ◆整数及び小数を分数の形で表したり、分数を小数で表したりする。 □生活場面を想定した課題を用意する。	
7 9	図形	6	○基本的な図形 (三角形、正方形、長方形など) ◆基本的な図形の特徴や違いについて理解する。 ◆基本的な図形の作図の方法について学び、正確に作図を行う。 □具体物を用いながら、図形の特徴の違いを学ばせる。	
10 11 12	変化と関係	10	○伴って変わる2つの数量について ◆百分率を用いた表し方を理解する。 □生徒の習得状況を確認し、使用するプリントの問題などの内容を工夫する。	
1 2 3	データの活用	7	○データの分類 ◆目的に応じてデータを集めて分類整理する。 ◆データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて判断する。 □実際の生活場面を想定した課題を用いる。	
通年			○活動や表現 ◆数学的課題を解決し、結果や方法を改善し、統合的・発展的に考察する。 ◆目的に応じて数学的に表現し伝え合う。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年
教科等名	数学	グループ名	3 類型CD
ねらい	(1) 数や図形などについての基本的な概念や性質を活用し、数学的に解釈したり表現したりする技能を身に付ける。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、筋道を立てて考察したり、数学的な表現を用いて簡潔に表現したりする力を養う。 (3) 数学のよさを実感し、事象を数学的に振り返ったり、多面的に捉え検討したりしてよりよいものを求める態度を養う。		
担当教員	○秀島直良		
年間授業時数	35 単位時間		
使用教科書	くらしに役立つ数学 (東洋館出版社)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫 備考
4 5 6	数量	8	○整数と偶数、奇数 ◆整数は偶数と奇数に類別できることを理解する。 □視覚的に偶数・奇数の分け方を示す。
7 9	図形	4	○身の回りの図形 ◆身の回りにある形についておよその面積を求める。 □図を用いて、計算方法との関係を確認する。
10 11 12	分数と小数	8	○分数と小数 ◆整数及び小数を分数の形で表したり、分数を小数で表したりする。 □生活場面を想定した課題を用意する。
1 2 3	データの活用	5	○データの分類 ◆目的に応じてデータを集めて分類整理する。 ◆データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて判断する。 □実際の生活場面を想定した課題を用いる。
通 年		10	○活動や表現 ◆数学的課題を解決し、結果や方法を改善し、統合的・発展的に考察する。 ◆目的に応じて数学的に表現し伝え合う。 □実際の生活場面を想定した課題を用いる。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	理科		グループ名	3 類型 A B
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に活かそうとする態度を養う。			
担当教員	○河村 歩実 ○平林 温			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	季節と生き物	12	○季節の動植物の観察 ○微生物の観察 ◆季節の動植物について、観察したり調べたりする中で、差異点や共通点、変化に気付けるようになる。 ◆観察や実験をとおして気付いたことを基に問題解決をすることができる。 ◆顕微鏡を使用して、目に見えない生物の観察を行うことができる。 □実験器具などの取り扱いには気を付ける。	
7	雲と天気 日本各地の 気候と動植物	4	○雲のでき方、雲の動き ○日本各地の気温の分布 ○日本各地の動植物 ◆雲のでき方や雲の種類を知ることができる。 ◆日本各地の気温の分布について調べ、地域による違いを理解する。 ◆日本各地の動植物を調べ、地域による違いを理解する。 □調べたことをグラフや表にして、視覚的に分かりやすくする。	
9 10	体のつくりと運動	7	○人体の部位の働き ○内臓器官の働き ◆頭部、腕、足など、人体の部位の働きについて考え、まとめることができる。 ◆心臓、肺、肝臓などの内臓器官の働きについて調べ、働きを理解することができる。 □図鑑、模型、動画を使用し、イメージしやすいようにする。	

11 12	ものの温度と体積 水の三態変化	6	<p>○もののあたため方</p> <p>○水の三態変化</p> <p>◆物質には沸点や融点、凝固点があることを検証し、事象を理解する。</p> <p>◆実験によって、水の三態変化を検証し、事象を理解する。</p> <p>□実験を行うなど、視覚的に分かりやすい教材を使用する。</p>	
1 2 3	地球、月、太陽の動き	6	<p>○季節ごとの星座</p> <p>○地球、月、太陽</p> <p>◆季節の代表的な星座について知る。</p> <p>◆地球から見た月と太陽の位置関係を理解する。</p> <p>□ICT機器を利用して、分かりやすくする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	理科		グループ名	3 類型 C D
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に活かそうとする態度を養う。			
担当教員	○河村 歩実 ○平林 温			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	季節と生き物	12	○季節の動植物の観察 ○微生物の観察 ◆季節の動植物について、観察したり調べたりする中で、差異点や共通点、変化に気付けるようになる。 ◆観察や実験をとおして気付いたことを基に問題解決をすることができる。 ◆顕微鏡を使用して、目に見えない生物の観察を行うことができる。 □実験器具などの取り扱いには気を付ける。	
7	雲と天気 日本各地の 気候と動植物	4	○雲のでき方、雲の動き ○日本各地の気温の分布 ○日本各地の動植物 ◆雲のでき方や雲の種類を知ることができる。 ◆日本各地の気温の分布について調べ、地域による違いを理解する。 ◆日本各地の動植物を調べ、地域による違いを理解する。 □調べたことをグラフや表にして、視覚的に分かりやすくする。	
9 10	体のつくりと運動	7	○人体の部位の働き ○内臓器官の働き ◆頭部、腕、足など、人体の部位の働きについて考え、まとめることができる。 ◆心臓、肺、肝臓などの内臓器官の働きについて調べ、働きを理解することができる。 □図鑑、模型、動画を使用し、イメージしやすいようにする。	

11 12	ものの温度と体積 水の三態変化	6	<p>○もののあたため方</p> <p>○水の三態変化</p> <p>◆物質には沸点や融点、凝固点があることを検証し、事象を理解する。</p> <p>◆実験によって、水の三態変化を検証し、事象を理解する。</p> <p>□実験を行うなど、視覚的に分かりやすい教材を使用する。</p>	
1 2 3	地球、月、太陽の動き	6	<p>○季節ごとの星座</p> <p>○地球、月、太陽</p> <p>◆季節の代表的な星座について知る。</p> <p>◆地球から見た月と太陽の位置関係を理解する。</p> <p>□ICT機器を利用して、分かりやすくする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	音楽		グループ名	3類型AB
ねらい	(1)様々な音楽に興味・関心をもち、自ら楽しむ心や表現する力を育てる。 (2)合奏や合唱など、奏法を工夫して演奏することができる。 (3)作曲家や演奏形態など特徴を理解して鑑賞する。			
担当教員	○大出 彩乃			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	MY SONG (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	歌唱 身体表現	15	○歌唱「校歌」「Believe」 ◆曲の雰囲気を感じ、歌詞を丁寧に歌う。 ○歌唱「二部合唱」 ◆歌う時の正しい姿勢や呼吸方法を意識して歌う。 ◆歌詞を覚えて、自信をもって歌う。 ○身体表現「ボディーパーカッション」 ◆音楽の変化を感じ取り、手足でリズムをとる。 □身近な言葉のリズムを用いて、リズムを分かりやすくする。	
6 7	器楽 鑑賞	15	○器楽 ◆仲間とリズムやテンポを合わせて演奏することができる。 ○鑑賞「国歌・世界の民族音楽①」 ◆世界の国歌に触れ、曲の特徴に興味をもつ。 ◆世界の民族音楽や楽器を知り、各国の文化について知識を広げる。 □生徒の実態に合わせた楽譜の作成を行う。	
9	器楽 創作	15	○器楽「日本の伝統楽器」 ◆和楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 ○創作 ◆様々な音素材の中から好きなものを選び、音の重なりを意識して創作することができる。 □視聴覚的教材を使用し、興味・関心が高められるようにする。	
10 11 12	歌唱 鑑賞	15	○歌唱「合唱曲」 ◆歌う時の正しい姿勢や呼吸方法を意識して歌う。 ◆強弱を意識して歌う。 ○鑑賞「協奏曲」 ◆交響曲と協奏曲の違いが分かる。 □視聴覚的な教材としてCD、DVDを活用する。	
1 2 3	歌唱 鑑賞	10	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。 ◆式典の厳粛な雰囲気に合わせて態度や演奏マナーを身に付けることができる。 ○鑑賞「様々なジャンルの音楽」 ◆様々なジャンルの音楽を聴き比べ、音色や楽器の特徴を知る。 □視聴覚的な教材としてCD、DVDを活用する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	音楽	グループ名	3 類型 CD	
ねらい	(1)様々な音楽に興味・関心をもち、自ら楽しむ心や表現する力を育てる。 (2)声の出し方、姿勢、強弱等を意識し、曲の雰囲気合った歌い方や演奏方法を工夫する。 (3)作曲家や演奏形態など特徴を理解して鑑賞する。			
担当教員	○高橋 義弘			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	MY SONG (教育芸術社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	歌唱	15	○歌唱「校歌」「Believe」「花は咲く」、「栄光の架橋」 他 My Song (斉唱を中心に) ◆曲の雰囲気を感じ、歌詞を丁寧に歌う。 ◆歌う時の正しい姿勢や呼吸方法を意識して歌う。 ◆歌詞を覚えて、自信をもって歌う。 □歌詞をはっきりと歌唱できるよう、歌唱カードを使用する。 ◆音楽の変化を感じ取り、手足でリズムをとる。	
6 7	歌唱 器楽 鑑賞	15	○歌唱「校歌」、「合唱曲」(合唱曲集 My Song より) ◆発声や表情を意識しながら歌う。 ○器楽 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 ○鑑賞「世界の音楽」、「ミュージカル」 ◆世界の音楽に触れ、曲や物語の特徴に興味をもつ。 ◆世界の民族音楽や楽器を知り、各国の文化について知識を広げる。 □生徒の実態に合わせた楽譜、ワークシートの作成を行う。	
9	器楽 創作	15	○器楽「日本の伝統楽器」 ◆和太鼓の演奏方法を知り、演奏することができる。 ◆楽器の種類や演奏方法を知り、正しい音の出し方を知る。 ○創作 ◆様々な音素材の中から好きなものを選び、音の重なりを意識して創作することができる。 □視聴覚的教材を使用し、興味・関心が高められるようにする。	
10 11 12	歌唱 鑑賞	15	○歌唱「合唱曲」(合唱曲集 My Song より) ◆強弱を意識して歌う。 ◆歌詞の意味を考えながら、適切な発声で歌う。 ○鑑賞「協奏曲」 ◆交響曲と協奏曲の違いが分かる。 □視聴覚的な教材として CD、DVD を活用する。	
1 2 3	歌唱 鑑賞	10	○歌唱「君が代」「卒業式の歌」「Believe」 ◆式典に向けて、国歌に親しむ。 ◆式典の厳粛な雰囲気に合わせた態度や演奏マナーを身に付けることができる。 ○鑑賞「様々なジャンルの音楽」 ◆様々なジャンルの音楽を聴き比べ、音色や楽器の特徴を知る。 □視聴覚的な教材として CD、DVD を活用する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	美術		グループ名	3 類型A B
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
担当教員	○廣野あやめ			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞 (浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	オリエンテーション	1	○1年間に行う内容について知る ◆興味をもって内容について聞くことができる。	
	メディア表現	5	○タブレット端末を使用した制作 ○アプリを使用して、フォトアルバムを作成する ◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。 ◆身近な風景から感じ取った良さや美しさから表現の構想を練る。 ◆身近な風景を表すことに関心をもち、主体的に取り組む。 □風景フォトアルバム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。	
5	平面表現	16	○色彩構成 ◆色の効果や表現を学習し、色彩を使った表現の幅を広げる。 ◆色彩を効果的に使った作品を鑑賞し、色彩表現への理解を深める。 □ポスターやチラシ等身近にある物を取り上げ、興味をもって色彩効果を学べるようにする。	
6 7 9	日本の芸術	22	○日本の名画を模写することで作品を理解し、表現の幅を広げる ◆木版画の名画を模写することで伝統的な表現の方法を学ぶ。 ◆作品に愛着をもって制作できる。 ◆道具を安全に使用し、表現の幅を広げる。 □事前に道具の扱いを練習し、安全に留意する。	
10 11	メディア表現	9	○タブレット端末を使用した制作 ○アプリを使用して、動画やデザイン画を作成する ◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。 ◆意図や構成を考え、表現する。 □ショートフィルム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。 □細分化した工程を、一工程ずつ確認しながら取り組むことで、制作の手順を理解しやすくする。	
12	羽ばたき祭準備	6	○羽ばたき祭の展示準備を行う ◆展示の準備を行うことで、美術文化への見方を広げる。	

1	メディア表現	5	<p>○タブレット端末を使用した制作</p> <p>○アプリを使用して、フォトアルバムを作成する</p> <p>◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。</p> <p>◆身近な風景から感じ取った良さや美しさから表現の構想を練る。</p> <p>◆身近な風景を表すことに関心をもち、主体的に取り組む。</p> <p>□風景フォトアルバム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。</p>	
2 3	卒業式の 装飾	6	<p>○卒業式で使用する装飾を制作する</p> <p>◆テーマに沿った共同制作に取り組むことで、意図に応じた表現方法を学ぶ。</p> <p>□制作の目的や目標の確認を都度行い、意図と表現の繋がりを理解しやすくする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	美術		グループ名	3 類型CD
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	ファインアート 新造形と美術 表現・鑑賞 (浜島書店)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	オリエンテーション	1	○1年間に行う内容について知る ◆興味をもって内容について聞くことができる。	
	メディア表現	5	○タブレット端末を使用した制作 ○アプリを使用して、フォトアルバムを作成する ◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。 ◆身近な風景から感じ取った良さや美しさから表現の構想を練る。 ◆身近な風景を表すことに関心をもち、主体的に取り組む。 □風景フォトアルバム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。	
5	平面表現	16	○色彩構成 ◆色の効果や表現を学習し、色彩を使った表現の幅を広げる。 ◆色彩を効果的に使った作品を鑑賞し、色彩表現への理解を深める。 □ポスターやチラシ等身近にある物を取り上げ、興味をもって色彩効果を学べるようにする。	
6 7 9	日本の芸術	22	○日本の名画を模写することで作品を理解し、表現の幅を広げる ◆木版画の名画を模写することで伝統的な表現の方法を学ぶ。 ◆作品に愛着をもって制作できる。 ◆道具を安全に使用し、表現の幅を広げる。 □事前に道具の扱いを練習し、安全に留意する。	
10 11	メディア表現	9	○タブレット端末を使用した制作 ○アプリを使用して、動画やデザイン画を作成する ◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。 ◆意図や構成を考え、表現する。 □ショートフィルム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。 □細分化した工程を、一工程ずつ確認しながら取り組むことで、制作の手順を理解しやすくする。	
12	羽ばたき祭準備	6	○羽ばたき祭の展示準備を行う ◆展示の準備を行うことで、美術文化への見方を広げる。	

1	メディア表現	5	<p>○タブレット端末を使用した制作</p> <p>○アプリを使用して、フォトアルバムを作成する</p> <p>◆身近なツールを使用して制作し、現代のメディア表現について理解を深める。</p> <p>◆身近な風景から感じ取った良さや美しさから表現の構想を練る。</p> <p>◆身近な風景を表すことに関心をもち、主体的に取り組む。</p> <p>□風景フォトアルバム等複数の参考作品として取り上げ、作品をイメージしやすくする。</p>	
2 3	卒業式の 装飾	6	<p>○卒業式で使用する装飾を制作する</p> <p>◆テーマに沿った共同制作に取り組むことで、意図に応じた表現方法を学ぶ。</p> <p>□制作の目的や目標の確認を都度行い、意図と表現の繋がりを理解しやすくする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年
教科等名	保健体育	グループ名	3 類型 A B
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>		
担当教員	○鳥海 幸造		
年間授業時数	175 単位時間		
使用教科書	新しい体育(東京書籍)		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考
通 年	体づくり運 動	91	<p>○周回走・時間走・インターバル走</p> <p>○ラジオ体操・筋力トレーニング</p> <p>◆決められた周回や時間を走りきることができる。</p> <p>◆体の動き、力強い動きを高めることができる。</p> <p>□体調を見て周数の変更をする。</p>
4 5 6 7 9	集団行動	6	<p>○集団行動(姿勢、礼、方向変換、集合・整とん、4列縦隊、開列、集団ランニング等)</p> <p>◆仲間や周りの人の動きを意識し、協力して運動したり、行動したりすることができる。</p> <p>□集団行動の意味を知り、安全に行動できるようにする。</p>
	保健 熱中症	2	<p>○熱中症の危険について・対処法</p> <p>◆熱中症の危険と未然に防ぐ対応策について考えることができる。</p>
	体力テスト	10	<p>□苦手な動きは教員が横で手本を示す。</p> <p>○体力テスト(握力、上体起こし、長座体前屈、持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ、反復横とび)</p> <p>◆自己の体力を知り、体力の向上を意識して運動することができる。</p> <p>□練習の機会を設定し、記録計測する。</p>
	ユニバーサ ルスポーツ	4	<p>○障害者スポーツ、ニュースポーツ、パラリンピックの種目</p> <p>◆様々なスポーツについて理解し、取り組むことができる。</p> <p>□ルールを図や手本を見せることでわかりやすく伝え、積極的にゲームに参加できるようにする。</p>
	水泳	14	<p>○安全な水中活動</p> <p>○バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、クロール</p> <p>◆安全に、水中での活動ができる。</p>

			<p>◆各種泳法を身に付け、自分のペースで長い距離を泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>□泳力に応じ、浮き具を活用する。</p>
10 11 12	<p>保健</p> <p>ソフトボール(Tボール)</p> <p>ユニバーサルスポーツ</p> <p>武道</p>	<p>2</p> <p>○けがの手当ての仕方</p> <p>◆けがの仕方や部位による手当の仕方を理解し、実行できる。</p> <p>12</p> <p>□ソフトバレーボールを活用し、恐怖心を克服する。</p> <p>○基本的技能、ゲーム</p> <p>◆球技(ベースボール型)の基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。</p> <p>◆ルールを理解し、試合をすることができる。</p> <p>4</p> <p>□柔らかいボールを使用し、ボールに慣れる。</p> <p>○障害者スポーツ、ニュースポーツ、パラリンピックの種目</p> <p>◆様々なスポーツについて理解し、取り組むことができる。</p> <p>8</p> <p>○礼法、構え、足さばき、基本技能の獲得</p> <p>◆基本的な技能を身に付けることができる。</p> <p>◆礼節を理解し、実行することができる。</p>	
1 2 3	<p>長距離走・リレー</p> <p>身体表現</p> <p>バレーボール</p>	<p>8</p> <p>○基本技能(スタート、フォーム)・リレー</p> <p>◆個人やチームのタイムを意識し、速く走ろうとすることができる。</p> <p>□走力に応じて走る距離を変える</p> <p>6</p> <p>○身体表現・ダンス</p> <p>◆音楽を意識し、テンポやリズムに合わせて身体を動かすことができる。</p> <p>◆振りや動きを合わせながら表現することができる。</p> <p>□ICT機器を利用し、動きを分かりやすく伝える。</p> <p>8</p> <p>○基本技能(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス)・ゲーム</p> <p>◆基本的な技能を身に付け、仲間と協力して取り組むことができる。</p> <p>◆ルールを理解し、ゲームすることができる。</p> <p>□ソフトバレーボールを活用し、恐怖心を克服する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年
教科等名	保健体育	グループ名	3 類型CD
ねらい	<p>(1) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。</p>		
担当教員	○平林 温		
年間授業時数	175 単位時間		
使用教科書	新編 新しい保健体育（東京書籍）		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
通 年	陸上競技	105	<p>○ランニング</p> <p>◆週3回の朝のランニングで、日頃の学校生活に必要な体力を高める。</p> <p>□走る時間や周回数を決め、生徒が目標をもって取り組めるようにする。</p>
4 5	体づくり運動	12	<p>○集団行動、隊列変換、体づくり運動（筋力トレーニング・ストレッチ、集団行動、新体力テスト）</p> <p>◆集団での活動のルールを確認し、自ら安全に活動に参加する意識をもつ。</p> <p>◆1年次の記録と現在の記録を比較し、1年間の成長した点と今後目標とすることを自ら見つける。</p> <p>□年度当初にオリエンテーションを行い、授業内でのルールやマナーについて一斉周知を行う。</p> <p>□1年前に取った記録を一覧にして生徒へ個別に提示し、生徒が自ら比較できるようにする。</p> <p>○体の清潔</p>
6 7	器械運動 水泳	13	<p>○基本技能（各種基本技能、用具や装置の使い方等）の獲得や演技発表会</p> <p>◆様々な体の動かし方を学ぶとともに、首の入れ方や手のつき方などを確認し、自ら安全に取り組む意識をもつ。</p> <p>□怪我をしやすい身体の動かし方などを視覚的に提示したり、正しい手のつき方などについてはマーカーなどを使用したりしながら意識付けを行う。</p> <p>○クロールや平泳ぎの泳法、安全な水中活動の仕方</p> <p>◆水泳を行う上での留意点などを確認し、安全に水中活動に取り組む。</p> <p>◆クロールの基本的な手足の動かし方や息継ぎの方法を学び、スムーズに泳げるように取り組む。</p>

			<p>□入水前に陸上でルールやマナーを確認し、生徒へ留意事項を伝え安全に対する意識を高められるようにする。</p> <p>□生徒の習得状況を確認し、グループ分けを行いながら実態に応じた支援を行う。</p>
9	水泳 武道 保健	8	<p>○クロールや平泳ぎの泳法、着衣泳</p> <p>◆自分の手足の動かし方を確認し、より効率よく泳ぐことができるようにポイントを見つける。</p> <p>□ICT機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。</p> <p>○相撲を通じての礼法、構え、足さばき、基本技能の獲得</p> <p>◆相撲の基本的な理念やルール、マナー、取り組み方を学び、日本の伝統芸能としての在り方を学ぶ。</p> <p>□ICT機器を用いながら、正しい取り組み方を生徒が視覚的に理解できるようにする。</p> <p>○男女の性と性行動について①</p> <p>◆1年次に学んだ男女の性について振り返り、それに伴う性行動の基本的な知識を深め、お互いを尊重できる意識をもつ。</p> <p>□生徒の実態や受け止め方に配慮し、グルーピングや課題内容に留意する。</p>
10 11 12	ダンス 球技 (ゴール型)	20	<p>○現代的なリズムのダンスの基本技能（各種ステップ、体の動かし方等）の獲得や創作、発表</p> <p>◆基本的なステップやリズムによつての違いを意識し、音楽に合わせて楽しんで体を動かす。</p> <p>□ICT機器を活用したり生徒の興味・関心のある曲を使ったりしながら、取りませ方を工夫する。</p> <p>○サッカーの基本的な技能の習得</p> <p>◆道具の扱い方から、サッカーで起こりやすい怪我などについても理解し、仲間と協力し合いながら基本的な技能の習得を目指す。</p> <p>□生徒の習得状況を確認し、基本的な技能の練習から段階に応じてゲーム形式の練習まで設定する。</p>
1 2 3	陸上競技 保健	17	<p>○短距離走・リレー、長距離走</p> <p>◆それぞれの種目の特性や取り組む上でのポイントを理解し、設定した目標に向けて自ら取り組む。</p> <p>□記録表などを作成し、記録を測定した都度生徒が視覚的に自身の記録を確認できるようにする。</p> <p>○性行動と性被害について</p> <p>◆これまで学んできた知識を生かし、自分で様々なケースに対して自分の考えをもつ。</p> <p>□現代で発生しているケースを用いながら、生徒一人一人に考えながら取り組んでもらえるような課題を用意する。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	職業	グループ名	3 類型 A B	
ねらい	(1) 将来の安定した生活を送る上で必要となる職業生活についての知識や技能を身に付ける。 (2) 「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3) 働く意義や自分の役割に気付き、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	○恵 勇太			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	ひとり立ちするためのビジネスマナー&コミュニケーション (日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通年	朝の職業】 ルールやマナー 働く生活に向けて 自己理解・他者理解 お役立ちドリル	35	【朝の職業】 ○挨拶、ビジネスマナー、公共交通機関の利用 ○健康管理、ライフワークバランス、労働情勢 ○自分の「強み」、配慮事項、リフレーミング、人権意識 ○就労先等で必要となる基礎学習スキル、認知機能訓練 ◆就職活動に向けて準備する。 □挨拶やビジネスマナーなど、気を付けるポイントを明確に伝え、繰り返し行う。 □ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。	
4	オリエンテーション	5	○会社で働くとは ◆働く意義や目的について考える。	
5	進路選択に向けて	5	○企業の地域特性や業種・職種 ◆顧客意識、品質意識、安全意識、ビジネスマナー、生産工程ライン、発注・納品等について考える。	
6	企業就労について	4	○福祉サービス ◆福祉サービス(就労移行、就労継続 B 型、職業訓練校)について学ぶ。	
		3	○ビジネスマナー講座(就労支援アドバイザーの活用) ◆現場実習の概要を知り、今後の流れに見通しをもつ。 □ICT 機器を使用し、企業の業種や職種などを確認する。 □写真や DVD など視覚支援をする。	
7	福祉サービスについて	5	○会社で働くとは ◆働く意義や目的について考える。	
9	ビジネスマナー講座	4	○企業の地域特性や業種・職種 ◆顧客意識、品質意識、安全意識、ビジネスマナー、生産工程ライン、発注・納品等について考える。	
		5	○福祉サービス ◆福祉サービス(就労移行、就労継続 B 型、職業訓練校)について学ぶ。	
		3	○ビジネスマナー講座(就労支援アドバイザーの活用) ◆現場実習の概要を知り、今後の流れに見通しをもつ。	

10	働く条件を 考える	4	○働く条件 ◆給与と最低賃金を知る。 ◆最低賃金、給与明細の項目と見方を知る。
11	暮らしの場 を知る	7	○暮らしの場 ◆グループホーム（戸建てタイプ、アパートタイプ、サテライト型）や一人暮らしについて考える。
12	余暇の過 ごし方	7	○いろいろな余暇の過ごし方 ◆趣味・余暇について考える。 □ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。
1	身の回りの 相談機関に ついて	5	◆資格や免許取得について考える。 ○相談機関 ◆ハローワークについて学ぶ。 ◆就労支援センターの役割について学ぶ。
2	ライフイ ベント	7	○将来設計 ◆就職（実習と採用選考）、退職（自己都合と会社都合） 転職（キャリアアップと健康）、社会保険（雇用・健康・厚生年金・労災）、障害基礎年金、好きな人と暮らすためには、結婚と子育て（人権と多様性）を考える。
3	3年生に向 けて	6	○2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認 ◆2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見通しをもつ。 □ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	職業	グループ名	3 類型CD	
ねらい	(1) 将来の安定した生活を送る上で必要となる職業生活についての知識や技能を身に付ける。 (2) 「体験」や「相談」を通して卒業後の暮らしと仕事を具体的に考え、自分の課題や良さを見いだして、前向きに取り組む力を養う。 (3) 働く意義や自分の役割に気付き、学んだことを活用し、社会人としての自分や目標について考え、働き続ける態度を養う。			
担当教員	○尾崎 智			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書	ひとり立ちするためのビジネスマナー&コミュニケーション (日本教育研究出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
通年	朝の職業】 ルールやマナー 働く生活に向けて 自己理解・他者理解 お役立ちドリル	35	【朝の職業】 ○挨拶、ビジネスマナー、公共交通機関の利用 ○健康管理、ライフワークバランス、労働情勢 ○自分の「強み」、配慮事項、リフレーミング、人権意識 ○就労先等で必要となる基礎学習スキル、認知機能訓練 ◆就職活動に向けて準備する。 □挨拶やビジネスマナーなど、気を付けるポイントを明確に伝え、繰り返し行う。 □ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。	
4	オリエンテーション	5	○会社で働くとは ◆働く意義や目的について考える。	
5	進路選択に向けて	5	○企業の地域特性や業種・職種 ◆顧客意識、品質意識、安全意識、ビジネスマナー、生産工程ライン、発注・納品等について考える。	
6	企業就労について	4	○福祉サービス ◆福祉サービス(就労移行、就労継続B型、職業訓練校)について学ぶ。	
		3	○ビジネスマナー講座(就労支援アドバイザーの活用) ◆現場実習の概要を知り、今後の流れに見通しをもつ。 □ICT 機器を使用し、企業の業種や職種などを確認する。 □写真やDVDなどで視覚支援をする。	
7	福祉サービスについて	5	○会社で働くとは ◆働く意義や目的について考える。	
9	ビジネスマナー講座	4	○企業の地域特性や業種・職種 ◆顧客意識、品質意識、安全意識、ビジネスマナー、生産工程ライン、発注・納品等について考える。	
		5	○福祉サービス ◆福祉サービス(就労移行、就労継続B型、職業訓練校)について学ぶ。	
		3	○ビジネスマナー講座(就労支援アドバイザーの活用) ◆現場実習の概要を知り、今後の流れに見通しをもつ。	

10	働く条件を考える	4	<p>○働く条件</p> <p>◆給与と最低賃金を知る。</p> <p>◆最低賃金、給与明細の項目と見方を知る。</p>
11	暮らしの場を知る	7	<p>○暮らしの場</p> <p>◆グループホーム（戸建てタイプ、アパートタイプ、サテライト型）や一人暮らしについて考える。</p>
12	余暇の過ごし方	7	<p>○いろいろな余暇の過ごし方</p> <p>◆趣味・余暇について考える。</p> <p>□ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。</p>
1	身の回りの相談機関について	5	<p>◆資格や免許取得について考える。</p> <p>○相談機関</p> <p>◆ハローワークについて学ぶ。</p> <p>◆就労支援センターの役割について学ぶ。</p>
2	ライフイベント	7	<p>○将来設計</p> <p>◆就職（実習と採用選考）、退職（自己都合と会社都合） 転職（キャリアアップと健康）、社会保険（雇用・健康・厚生年金・労災）、障害基礎年金、好きな人と暮らすためには、結婚と子育て（人権と多様性）を考える。</p>
3	3年生に向けて	6	<p>○2年次のまとめ、3年次の予告、スケジュール確認</p> <p>◆2年次の進路行事から課題を振り返り、3年生就職活動に向け見通しをもつ。</p> <p>□ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に自分の動きを確認できるように工夫する。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	家庭	グループ名	3類型A B	
ねらい	(1) 自立した生活を目指して、衣食住、家族・家庭、消費や環境について基礎的な理解を深め、それらに係る技能を身に付ける。 (2) 日常生活の中から問題を見つけ、解決策を考えたり、解決に向けて行動したりする。 (3) より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする。			
担当教員	渡邊 富士子			
年間授業時数	70単位時間			
使用教科書	共に生きる家庭科 自立を目指して(開隆堂出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6	衣服の選択と手入れ	12	○衣服の選択と手入れ ◆洗剤の働きと衣服の材料に応じた洗剤の種類が分かる。 ◆衣服の洗濯には表示に従う必要があることが分かる。 ○季節にふさわしい衣服を知る □日常的に身近な具体物を提示し、イメージしやすくする。 ○基礎的な縫い方	
7 9	小物の制作	14	◆基礎縫いの方法を理解し、活用する。 □ポイントを箇条書きで提示し、確認しながら取り組めるようにする。	
10	ミシンを使った小物の製作	14	○製作 ◆製作に関心をもち、大まかな工程を理解する。 ◆基本的な用具の扱い方を知り、安全に製作する。 □教員が見本を見せる。手順書を用意し確認しながら指導する。	
11 12	郷土料理	14	○郷土料理 ○日常食の調理 ◆地域の郷土料理を知る。 ◆五大栄養素の働きを理解する。 ◆基本的な調理用具の扱い方を知り、安全に調理する。	
1	家族・家庭生活	8	○家族の役割・自分の成長 ◆生活するために必要な家事を知り、家族の一員としてできることを考える。 □手伝いをすることで感謝される経験を積めるようにする。 □自分から積極的に手伝いをしたくなるように体験的な活動を多く取り入れる。	
2 3	消費生活	8	○消費生活 ◆購入方法や支払方法の特徴がわかる。 ◆消費者トラブルの事例とその対応策について理解できる。 □映像教材を用いて身近な問題として考えることができるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	家庭	グループ名	3類型CD	
ねらい	(2) 自立した生活を目指して、衣食住、家族・家庭、消費や環境について基礎的な理解を深め、それらに係る技能を身に付ける。 (2) 日常生活の中から問題を見つけ、解決策を考えたり、解決に向けて行動したりする。 (3) より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し、考えようとする。			
担当教員	渡邊 富士子			
年間授業時数	70単位時間			
使用教科書	共に生きる家庭科 自立を目指して(開隆堂出版)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6	衣服の選択と手入れ	12	○衣服の選択と手入れ ◆洗剤の働きと衣服の材料に応じた洗剤の種類が分かる。 ◆衣服の洗濯には表示に従う必要があることが分かる。	
7 9	小物の制作	14	○基礎的な縫い方 ◆基礎縫いの方法を理解し、活用する。 □ポイントを箇条書きで提示し、確認しながら取り組めるようにする。	
10	ミシンを使った小物の製作	14	○製作 ◆製作に関心をもち、大まかな工程を理解する。 ◆基本的な用具の扱い方を知り、安全に製作する。 □教員が見本を見せる。手順書を用意し確認しながら指導する。	
11 12	郷土料理	14	○郷土料理 ○日常食の調理 ◆地域の郷土料理を知る。 ◆五大栄養素の働きを理解する。 ◆基本的な調理用具の扱い方を知り、安全に調理する。	
1	家族・家庭生活	8	○家族の役割・自分の成長 ◆生活するために必要な家事を知り、家族の一員としてできることを考える。 □手伝いをすることで感謝される経験を積めるようにする。 □自分から積極的に手伝いをしたくなるように体験的な活動を多く取り入れる。	
2 3	消費生活	8	○消費生活 ◆購入方法や支払方法の特徴がわかる。 ◆消費者トラブルの事例とその対応策について理解できる。 □映像教材を用いて身近な問題として考えることができるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	外国語	グループ名	3 類型 AB	
ねらい	(1)簡単な外国語の語句や表現を知り日本語との違いに気付くとともに、外国語に親しむための基礎的な技能を身に付ける。 (2) 目的や場面に応じて簡単な英語表現への理解を深め、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる能力の基礎を養う。 (3)英語表現を繰り返し学習し、聞き取ろうとする、話そうとするなど積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	NEW ABC of ENGLISH 会話編 (創英社/三省堂)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	自己紹介 アルファベットの復習 身近な単語	7	○自分の紹介 ○アルファベットの復習 ◆I like ~. を使って、自分の好きなことを伝える。 ◆アルファベットの大文字、小文字、ローマ字の読み書きができる。 ○単語と発音 ◆単語の初めの音・終わりの音、真ん中の音等、音素レベルで音を理解する。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。	
6 7	人物の紹介	6	○人物の紹介 ◆自分の興味・関心のある事柄について、My hero is ~. 等と伝える・	
9	行きたい国を伝えよう	4	○行きたい国や名産品を伝え合う ◆I want to go to ~. で、行きたい場所を伝える。	
10	「ください」と頼んでみよう	4	○依頼に応える ◆Will you give me ~? で依頼をしてやり取りをする。 □ワークシートなど個別の支援教材を用意する。	
11	誕生日を聞いてみよう	5	○仲間とのやり取り ◆Where is your birthday? 等の表現で仲間とやり取りをする。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。	
12	外出に誘ってみよう	3	○誘ったり、提案したりする活動 ◆How about going to ~. 等と誘ったり、提案をしたりする。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。	
1	ほしい野菜を言ってみよう	4	○八百屋でのやり取り ◆May I help you? I want ~. 等とやり取りをする。 □ICT機器などの視聴覚教材を有効に活用する。 体験的な活動を取り入れ、理解を促す。	
q w w				

2	街で色々な人に声を掛けよう	4	<p>○呼び掛けの表現</p> <p>◆教員・警官・店員等に呼び掛けたり、質問をしたりする。</p> <p>□ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>	
3	相手に共感しよう	2	<p>○共感の表現</p> <p>◆うれしい出来事や悲しい出来事について、共感の表現を伝え合う。</p> <p>□ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	外国語	グループ名	3 類型 C D	
ねらい	(1)簡単な外国語の語句や表現を知り日本語との違いに気付くとともに、外国語に親しむための基礎的な技能を身に付ける。 (2) 目的や場面に応じて簡単な英語表現への理解を深め、自分の考えや気持ちを伝え合うことができる能力の基礎を養う。 (3)英語表現を繰り返し学習し、聞き取ろうとする、話そうとするなど積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。			
担当教員	○廣野あやめ			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	NEW ABC of ENGLISH 基本編（創英社／三省堂）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	自己紹介 アルファベットの復習	6	○自分の紹介 ○アルファベットの復習 ◆相手の名前と誕生日を質問する。 ◆アルファベットの大文字、小文字、ローマ字の読み書きができる。 ○自分の紹介 ○アルファベットの復習 ○自分の意思を伝える表現 ◆I want ～. I like ～.を使った表現を覚える。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。 □興味をもって活動に取り組めるようにアクティビティを取り入れ、自発的に英語を使う場面を設定する。	
6	海外旅行へ行こう①	4	○日常会話の表現① ◆海外旅行に必要な表現などを知る。 I am Japanese. I don't speak French. など □ワークシートなど個別の支援教材を用意する。	
7	感情や体調を伝えよう①	3	○感情や体調を表す表現① ◆I am ～. You look ～. Are you ～?などを使った表現を覚える。 □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。	
9	数字・金額・色の表現をしよう	4	○数字と金額の表現 ○色の表現 ◆1～9 9 9 9までの数表現を覚える。 ◆色の表現を使って対話する。 □ワークシートなど個別の支援教材を用意する。	
10	海外旅行へ行こう②	3	○日常会話の表現② ◆海外旅行に必要な表現を知る。Excuse me? May I use this? Where is a restroom?など □ICT機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。	

11	感情や体調を伝えよう②	4	<p>○感情や体調を表す表現②</p> <p>◆ I am ～. You look ～. Are you ～?などを使った表現を覚える。□ I C T機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>
12	「外国の文化を知ろう」	3	<p>○外国の文化</p> <p>◆世界の伝統的な食べ物や衣装を知り、自分の好きな食べ物や文化について互いに伝え合うことができる。</p> <p>□ I C T機器などの視聴覚教材を有効に活用する。興味のある国を選んで、調べる等の活動を行う。</p> <p>◆体験的な活動を取り入れ、理解を促す。食材や料理に関する表現 It smells good! Tastes good! などの表現を知る。</p> <p>□ I C T機器などの視聴覚教材を有効に活用する。体験的な活動を取り入れ、理解を促す。</p>
1	英語でゲームをしよう	3	<p>○英語の身近な表現や感嘆詞</p> <p>◆前後左右、上下、褒め方や励まし方等の英語表現を知る。</p> <p>◆友達と英語で情報を伝え合い、ゲームを楽しむことができる。目隠しゲームやリレー、すごろくなど</p> <p>□ゲームのルールを単純化して、わかりやすくし、ゲーム中は日本語禁止などのルールを設ける。</p>
2 3	外国の文化を知ろう	5	<p>○アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなどの言語と文化</p> <p>◆各国の言語、簡単な挨拶表現、歴史、文化、特産品などを知る。</p> <p>□ I C T機器、タブレット端末、フラッシュカードなどの視聴覚教材を有効に活用する。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	情報	グループ名	3 類型 A B	
ねらい	(1) 身近にある情報と情報技術の活用方法を知る。 (2) 情報社会での基礎的なルールやマナーを身に付ける。 (3) 簡単な表から情報を読み取り、情報をまとめることができる。			
担当教員	○大出 彩乃			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	見て分かる情報モラル（日本教育研究出版）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	情報社会の 問題解決	12	○情報について ◆情報を取り扱う際のルール、マナー ◆コンピューター等の情報機器の名称や取り扱い方を覚える。 □図式化して、名称を覚えやすくする。 ○個人情報の管理 ◆個人情報の管理方法の仕方を知る。 ◆個人情報に関する法規や制度を知る。 □実際の生活場面に合った課題を用意する。 ○日常の中にある「情報」 ◆情報の収集することで生活が向上することを知る。 ◆身近にある情報の活用と社会参加の仕方を覚える。 □インターネット等を使い、情報収集方法を確認する。	
7 9	コミュニケーションと 情報デザイン	6	○情報デザインの役割 ◆情報デザインの社会的な役割と特徴を知る。 □実際の生活場面に合った課題を用意する。 ○文書作成ソフトの活用 ◆文書作成ソフトの入力や保存、出力の方法を知る。 ◆文書作成ソフトを用いた文書デザインの表現技術を学ぶ。 □アプリケーションの使い方を確認する。	
10 11 12	情報通信ネ ットワーク とデータの 活用	10	○情報の収集と活用 ◆必要に応じた情報の収集、処理及び発信方法を知る。 ◆様々な情報機器を扱う際に発生する著作権の取り扱い方を学ぶ。 □実際の生活場面を想定し、課題を設定する。	
1 2 3	情報通信ネ ットワーク とデータの 活用	7	○表計算ソフトの基本操作 ◆表計算ソフトを使った基本的な入力や保存の方法を知る。 ◆表計算ソフトを使った数値データの集積と分析方法を知る。 □アプリケーションの使い方を視覚的に確認する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	情報		グループ名	3 類型CD
ねらい	(1) 身近にある情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技術を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (2) 身近な事象を情報とその結びつきとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
担当教員	○眞下 大佑			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	見て分かる情報モラル（日本教育研究出版）			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	情報社会の 問題解決	12	○情報について ◆情報を取り扱う際のルール、マナー ◆コンピューター等の情報機器の名称や取り扱い方を覚える。 □図式化して、名称を覚えやすくする。 ○個人情報の管理 ◆個人情報の管理方法の仕方を知る。 ◆個人情報に関する法規や制度を知る。 □実際の生活場面に合った課題を用意する。 ○日常の中にある「情報」 ◆情報の収集することで生活が向上することを知る。 ◆身近にある情報の活用と社会参加の仕方を覚える。 □インターネット等を使い、情報収集方法を確認する。	
7 9	コミュニケーションと 情報デザイン	6	○情報デザインの役割 ◆情報デザインの社会的な役割と特徴を知る。 □実際の生活場面に合った課題を用意する。 ○文書作成ソフトの活用 ◆文書作成ソフトの入力や保存、出力の方法を知る。 ◆文書作成ソフトを用いた文書デザインの表現技術を学ぶ。 □アプリケーションの使い方を確認する。	
10 11 12	情報通信ネットワーク とデータの活用	10	○情報の収集と活用 ◆必要に応じた情報の収集、処理及び発信方法を知る。 ◆様々な情報機器を扱う際に発生する著作権の取り扱い方を学ぶ。 □実際の生活場面を想定し、課題を設定する。	
1 2 3	情報通信ネットワーク とデータの活用	7	○表計算ソフトの基本操作 ◆表計算ソフトを使った基本的な入力や保存の方法を知る。 ◆表計算ソフトを使った数値データの集積と分析方法を知る。 □アプリケーションの使い方を視覚的に確認する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部		学 年	第2学年
教科等名	特別活動		グループ名	3類型
ねらい	(1) 集団における自分の役割を意識し、係活動など責任をもってやり遂げることで必要となることについて理解する。 (2) 自分の意見を発表し、必要なことを決めたり話し合ったりすることで、合意形成を図ったり意思決定したりする。 (3) 仲間と協力して、学年活動などの企画や運営が行うことで、人間関係をよりよく形成するとともに、主体的、協働的な態度を身に付ける。			
担当教員	○高等部第2学年担任			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7	話し合い 友達を知ろう 係活動 清掃	18	○1学期の目標や係決め ○各種掲示物作成 ◆協力して制作活動に取り組むことができる。 ○係活動 ◆責任をもって、主体的に行うことができる。 ○教室等清掃 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○クラスレクリエーションの準備 ◆仲間を尊重する気持ちを育む。 ◆1学期を振り返り、自分の気持ちや意見を発表したり、仲間の意見を理解したりできるようになる。 □生徒の実態に応じて言葉かけ等を工夫する。	
9	話し合い		○2学期の目標や係決め ◆主体的に活動に参加する意欲をもつことができる。 ○行事に向けた話し合い ◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。 □ICT機器を活用し、興味関心がもてるよう工夫する。	
10 11 12	係活動 清掃 仲間と交流しよう 冬休みに向けて	10	○係活動 ◆責任をもって、主体的に行うことができる。 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○教室等清掃 ○学年集会の準備 ◆活動を通して、仲間を尊重する気持ちを育む。 ◆2学期を振り返り自分の気持ちや意見を発表したり、仲間の意見を理解したりできるようになる。 □集団行動を通して、人の気持ちを考えながら行動できるようにする。	
1 2 3	話し合い 清掃 学年集会をしよう 3年生に向けて	7	○3学期の目標や係決め ◆主体的に活動に参加する意欲をもって取り組むことができる。 ○行事に向けた話し合い ◆話を聞き、活動内容や様々な役割があることを知る。 ○教室等清掃 ◆学校や他者のために働く気持ちを育む。 ○学年集会の準備 ◆仲間を尊重する気持ちを育む。 ◆3学期を振り返り自分の気持ちや意見を発表したり、仲間の意見を理解したりできるようになる。 □自発的、能動的、主体的に活動に取り組めるよう促していく。 □ICT機器を積極的に活動の中に取り入れる。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	総合的な探究の時間	グループ名	3 類型	
ねらい	(1) 季節や地域社会に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識、技能を身に付け、個々の実生活に活用していく。 (2) 課題の解決に向けての仮説を立てたり、まとめたりすることを通じて表現力を身に付ける。 (3) 各行事や季節、地域社会についての体験を通じて、主体的、協働的に取り組む態度を身に付ける。			
担当教員	○眞下 大佑			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6	新クラス紹介	2	○新しいクラスでの自己紹介、学年集会 ◆新しいクラスで自己紹介しあうことでクラス、学年の交流を深める。 □自己紹介のテンプレートを用意する。交流が深まるように話し合い活動などを取り入れる。	
	校外学習について①（立川駅周辺）	3	○立川駅周辺について事前事後学習 ◆立川駅周辺にある施設や飲食店について学び、科学的探究心を育む。 □ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。	
	オリパラレガシーについて	3	○社会貢献活動 ◆地域への社会貢献活動を通して、ボランティアマインドを醸成する。 □自分たちのできる社会貢献について考え、実践させる。	
	羽村特別支援学校 50 周年について	2	○50 年周年記念式典のポスター作製 ◆50 年周年記念式典の開催をアピールするポスターを作製する。 □キャラクターやスローガンを用いてポスター作製を行う。	
7 9	移動教室について	4	○移動教室事前事後学習 ◆移動教室のねらい、行き先、活動内容等を知り、活動に見通しをもつことができる。 □十分に見通しがもてるように視覚的な教材を多用する。	
	SNS について	3	○SNS ルール、Office365 の活用 ◆SNS ルールについて知る。Office365 を活用する。 □具体例を提示して分かりやすいように進行する。 □office365 の操作は進度によってグループ分けをする。	

	羽村特別支援学校 50 周年について	2	<p>○羽村特別支援学校 50 年の歩みについての調べ学習</p> <p>◆羽村特別支援学校 50 年の歴史を知る。</p> <p>□羽村特別支援学校の歴史に触れ、親しむ。</p>	
10 11 12	進路を考える ①	1	<p>○ビジネスマナー講座 外部講師</p> <p>◆学生と社会人の生活の違いを知り、進路を考える。</p> <p>□具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会とする。</p>	
	進路を考える ②	1	<p>○福祉サービスガイダンス</p> <p>◆卒業後に有用な社会資源を知る機会とする。</p> <p>□具体的な話を通じて、進路を自分のこととして考える機会とする。</p>	
	羽ばたき祭について	4	<p>○羽ばたき祭事前事後学習</p> <p>◆羽ばたき祭の作品展示や作業販売に向けて、必要なものを調べ、協力して準備する。</p> <p>□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが分かりやすいよう視覚的に支援する。</p>	
	学年レクリエーションについて	2	<p>○学年レクリエーションの計画・実行。</p> <p>◆様々な人が楽しめるレクリエーションについて調べ、役割を分担し、人との関わり方を学習する。</p> <p>□それぞれの生徒が活躍できる場を設定し、事故達成感が味わえるようにする。</p>	
1 2 3	校外学習について②（東京駅周辺）	3	<p>○東京駅周辺について事前事後学習</p> <p>◆東京駅の歴史と機能などを調べ、整理したものを発表する。</p> <p>◆当日の活動予定をクラスで協力して計画する。</p> <p>□ICT 機器を利用して視覚的に分かりやすく提示する。</p> <p>□地図等を活用して活動場所を視覚的に分かりやすくする。</p>	
	3 年生を送る会について	3	<p>○3 年生を送る会に向けて</p> <p>◆3 年生に感謝の気持ちを込め、仲間と協力して練習や準備を行うことができる。</p> <p>□協力して活動できるように役割分担を行う。進行度合いが分かりやすいよう視覚的に支援する。</p>	
	1 年間のまとめ	2	<p>○1 年間のまとめと進級について</p> <p>◆1 年間の行事や、授業で行った主な活動に関して振り返り、成果を発表したり、友達の発表を聞いたりして、3 年生に向けての展望をもつことができる。</p> <p>□生徒一人一人が自己達成感を味わえるような工夫をする。</p>	